

都留文科大学公開講座

テーマ……『地域と文化』

「文化」という言葉を辞書で引きますと、物質的所産を「文明」というのに対して、精神的所産を「文化」といいます。都留市に住んでいても今日では、世界中のことを知ることができません。言葉の情報文化、文明の発展があるからです。しかし、文明、文化も人間が創りあげた世界です。見過ごしてしまうことの方が多いためです。「地域と文化」というテーマを選んだのも、そういう意図に添っています。講座では、山梨県とかかわりをもつ文化人がどのような表現活動をしてきたものか、また地域に根ざした文化の発

○日程と内容

日 程	講 師	テ ー マ	内 容
9月8日(土) 13:30~14:00	学 長 上田 薫	地域と教育 <small>(都留文科大学の未来像)</small>	全国的な視野に立つ問題解決の方向と地域の特性を生かすことの意義とをどう結ぶか。教育の本質を問うことによって考える。
14:00~16:30			
9月22日(土) 13:30~16:30	教 授 関口安義	山梨と近代文学	山梨県出身、もしくは山梨と深いかわりを持つ近代作家を取りあげ、彼らが甲州の地をどのように描いたかを見ていきたいと思う。
9月29日(土) 13:30~16:30	専任講師 宮沢正明	墨による芸術	墨は書芸術にとって欠かせぬものの用材ですが、墨がどのように書美に関与しているか、その由来や筆・硯・紙との関係から考える。
10月6日(土) 13:30~16:30	兼任講師 江本 裕	山梨と近世文学	武田家三代の興亡を語る『甲陽軍鑑』が近世軍書の典範であった事を確認しつつ、この書の近世小説に与えた影響の大きさを明らかにする。
10月13日(土) 13:30~16:30	兼任講師 北条明直	映画と文化	文化映画「歌舞伎の魅力」(国立劇場企画、北条明直脚本・演出)を鑑賞し、その表現を通じて、日本人の美意識を探り、かつ日本文化の在り方を考えてみる。
10月20日(土) 13:30~16:30	助 教 授 植渡 登	山梨の言葉	東国語の歴史をふり返りつつ、今日の山梨方言の位置や特徴を考えてみる。又何枚かの方音地図から言語地理学的な考察をも試みたい。
10月27日(土) 13:30~16:30	教 授 小 熊 均	言葉の科学	「ことば」とは何なのか。どのような形や規則があり、どのような働きがあるのか。とくに心理学の立場から考えてみたい。
16:30~17:00	閉 講 式		

- 開設時期 九月八日(土)~十月二十七日(日) 毎週土曜日 一時三十分~四時三十分 ※ただし、九月十五日(土)は休講とします。
- 学習場所 文化会館三階小ホール
- 募集人員・資格 五十名程度、年齢十八歳以上
- 学習日程・テーマ・内容

展を、それぞれの分野から知ってもらおうと思います。

きつと講座の中から、知り得る喜びを味わってもらうことが出来るものと思います。ふるってご参加下さい。

● 申込・問合せ
都留文科大学事務局広報室
☎(三) 四三四一

● 受講料 二、〇〇〇円
● 受付期間 八月一日(水)~八月二十七日(月)(ただし、定員になり次第締め切らせていただきます)

● 受講料 三、〇〇〇円
● 講師 (柳山梨計算センター) 取締役 望月正二氏
● 申込・問合せ
県立都留能力開発センター
☎(三) 八九一一



受講者募集 パソコン講座

現在はコンピュータの時代だと言われています。この講座は商店や事業所などに勤務している方を対象にパソコンを正しく理解し、その取扱いの基礎的な知識、技能を習得することを目的とし

私のアイデア 貯金箱コンクール

- みなさんのアイデアで、楽しく、使いやすい貯金箱の応募をお待ちしております。
- (1) 応募資格 小学生・中学生
 - (2) 応募作品 たて・よこ・高さそれぞれ二十五センチ以内で材料は自由
 - (3) 応募方法 作品に学校名、学年、氏名を明記し、みなさんの学校へお出し下さい。
 - (4) 締 切 九月十四日(金)
 - (5) 賞 郵政大臣賞、文部大臣賞ほか
 - (6) 発 表 入賞者にお知らせします。
- ※昨年は東桂小の原田君と谷村一小的の井上さんが関東郵政局長賞に輝きました。この夏休み中に、ぜひ挑戦してみてください。